

2023年4月1日

課題名：先天性梨状窩瘻孔に対するトリクロロ酢酸を用いた
化学的焼灼法の治療成績の検討

◆研究の目的と概要◆

当院では、先天性梨状窩瘻孔と診断された患者さんに対してトリクロロ酢酸を用いた化学的焼灼法（以下、本法）の治療成績を調べています。本研究では、手術に変わる本法の治療の確立を目指し、今後のよりよい診療を行うことを目的としています。

◆対象となる患者さん◆

2015年1月から、2022年12月までの間に、先天性梨状窩瘻孔であると診断され、トリクロロ酢酸による化学的焼灼法を施行した16歳未満の方。

◆研究に使用される情報◆

性別、発症年齢、治療年齢、梨状窩瘻孔の左右、瘻孔の長さ、実施検査、内視鏡の種類、使用薬剤量、治療回数、術後飲水および食事開始までの日数、合併症の有無、合併症の種類、前治療内容

◆研究方法◆

本研究は過去の診療録（カルテ）等からの情報を利用します。多施設で行う計画です。

-
- * 研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる情報は利用しません。
 - * 本研究に関するお問い合わせや、カルテ情報の利用についてご了承いただけない場合、以下の問い合わせ先までメールでご連絡ください。

【問い合わせ先】

公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院

外科 研究責任者 片山 修一

E-mail: kenkyu★kchnet.or.jp（臨床研究センター）

（★を@に変換して使用してください）

【共同研究機関】

①公立学校共済組合 四国中央病院 小児外科

担当者 大塩 猛人

②県立広島病院 小児外科

担当者 大津 一弘

③高知医療センター 小児外科

担当者 佐々木 潔

④独立行政法人国立病院機構岡山医療センター 小児外科

担当者 中原 康雄

この研究課題で利用する残余検体・診療情報等の利用については、医の倫理委員会によって「社会的に重要性が高い研究である」等の特段の理由が認められ、実施についての承認が得られています。

※【問い合わせ先】では、次の事項について受け付けています。

- 研究計画書および研究の方法に関する資料の閲覧（又は入手）ならびにその方法（他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護等に支障がない範囲内に限られます。）
- 研究対象者の個人情報についての開示およびその手続
- 研究対象者の個人情報についての利用目的の通知
- 研究対象者の個人情報の開示、訂正等、利用停止等について、請求に応じられない場合にはその理由の説明